

図書館だより

NO1 1



「家読(うちどく)」で家庭のきずなづくり



「家読」ってなァーに？
聞いたことないなァ。

聞きなれない言葉だよね。
簡単に言うと「お家で読書」という
ことなんだけど、今から説明するね。



家読とは、「家族ふれあい読書」の略語です。読書をすることで、家庭内のコミュニケーションを深めることを目的としています。また、家読を続けることで読書が好きになり、自主的に読書活動へつながっていく可能性もあります。



へえー、なんか楽しそう。
でも、どうやればいいの？

では、「家読」の4つのポイントを
説明するね。



- 1 「家読」の日を決める。
- 2 読み物を決める。※絵本がおすすめ
- 3 「家読」の仕方を決める。
- 4 「家読」のスタイルを決める。



これは、ひとつの例です。家族で話し合っ**て決めるのが一番です。**



どうして、
絵本がいいの？

学校や市立図書館の司書は本の専門家です。
司書さんに聞いてみましょう。



絵本は、文章も少なく、短い時間で読めるし、家族みんなで楽しめますよ。絵本には、自然や愛、命など生きていくために大切なテーマも盛り込まれています。また、新聞や雑誌、学習しているところを読んでもいいですね。
分からないことがあったらいつでも聞いてくださいね。



コミュニケーション
ってむずかしそう。

「へーっ」
「なるほどね」

「そうそう」
「うまいね」



「このウサギの目がかわいいね。」など感じたことを話題にしましょう。年齢によっては、主人公の考え方や生き方を話題にしてもおもしろいですね。



今日はできなかったも OK 無理なく長く続けましょう。

絵の印象だけでも話題にできる！短い時間でだれでも読むことができるので読みやすい！
そんな絵本を、たのしいテーマでリストアップしました。

●行事の絵本 ～クリスマス&お正月 ver.～●



『クリスマスのふしぎなほど』
長谷川 摂子／ぶん
福音館書店



『サンタのいちねん
トナカイのいちねん』
きしら まゆこ／作・絵
ひさかたチャイルド



『十二支のはじまり』
岩崎 京子／文
教育画劇



『落語絵本 はつてんじん』
川端 誠／作
クレヨンハウス

●どっちかな？絵本●



『コロネのおしりはどっち？』
塚本 ユージ／著
みらいパブリッシング



『りんごかもしれない』
ヨシタケ シンスケ／作
プロズ新社



『うかぶかな？しずむかな？』
川村 康文／文
岩崎書店



『またまた
ねえ、どれがいい？』
ジョン・バーニングム／さく
評論社

●詩をかんじる絵本●



『あるのかな』
織田 道代／作
鈴木出版



『のはらうた絵本』
工藤 直子／詩
童話屋



『最初の質問』
長田 弘／詩
講談社



『おならうた』
谷川 俊太郎／原詩
絵本館

●話題の絵本●



『大ピンチずかん 3』
鈴木 のりたけ／作
小学館



『しばらくあかちゃんに
なりますので』
ヨシタケ シンスケ／作・絵
PHP 研究所



『なにができる？』
キボリノコンノ／さく
PHP 研究所



『おすしがあるひたびにでた』
田中 達也／作
白泉社

●じっくり読みたい絵本●



『絵本版 モモ』
ミヒヤエル・エンデ／文
光文社



『クジラがしんだら』
江口 絵理／文
童心社



『勇氣』
バーナード ウェーバー／作 (文と絵)
ユーリーグ



『ごんぎつね』
新美 南吉／作
偕成社

八女市の5つの分館

立花分館

立花分館は引っ越しをして1年が経ちました。入口は田崎廣助美術館と同じです。足跡をたどってご来館ください。

絵本や物語など子どもが読む本をそろえています。大人の方には、気軽に読める雑誌や料理の本などもあります。飛び出す絵本もあり親子で楽しめる図書館です。毎月第3土曜日はおはなし会も行っています。ぜひご参加ください。



黒木分館

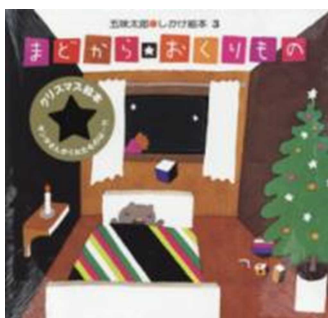
黒木分館では毎月第1土曜日に『おはなし会』、第4土曜日に『あかちゃんおはなし会』を開催しています。ボランティアさんによるアットホームなおはなし会で、初めての方も気軽にご参加できます。お子様と一緒に本と触れ合う楽しい時間を過ごしてみませんか♪

（おすすめ）

『まどから★おくりもの』

五味 太郎/作 偕成社/出版

サンタさんが、窓から少しだけ見える姿を見て、プレゼントを選んで配ってまわりますが…そこにいたのは?!穴あきしかけの、めくる楽しさがたくさん詰まった絵本です。読み聞かせにもオススメです！



上陽分館

上陽分館は、上陽公民館の1階にある小さいながら落ち着いた雰囲気の良い図書館です。この冬、クリスマスに関するクイズと本の紹介が入った特製アドベントカレンダーを、12月末まで館内に設置しています。ツリーに飾られた家型の箱を開いてみてください☆彡



矢部分館

矢部分館は旧矢部小学校の中にあります。閲覧コーナーからは紅葉した木々が見えてゆったりとした気持ちで読書ができ、お子様とのんびり絵本を読んでもいただける畳のスペースもあります。ゆたかな自然に囲まれた図書館なので、昆虫や植物、アウトドアなどの本を充実させていく予定です。ゆっくりとした時間が流れる矢部分館に、ぜひお越しください。



星野分館

星野分館の入口に片足を挙げて立つこの方をご存じでしょうか？モーニング娘やAKBに深く関わり、ダンスの振り付け指導をされた夏まゆみさんです。

星野にもご縁があり、生前、村にも来られていました。

「ダンスを通じて世界を平和にしたい」という想いで人生を駆け抜けた夏まゆみさんの本をぜひ読んでみてください。



幼稚・保育所（園）、市立学校、市内高等学校等の紹介



岡山保育園



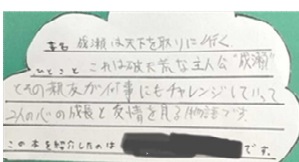
岡山保育園には、家庭で読み聞かせをしていただくことを目的に自由に持ち帰りができる貸出図書コーナーを設けています。数多く置いているわけではありませんが、保育士により厳選されたお子様に読み聞かせをしていただきたい本を揃えています。また、未満児クラスでは、毎年読み聞かせの大切さについてのお話を保護者向けに開いています。それにより貸し出しも盛んにおこなわれています。

保育の時間中では、毎日絵本や紙芝居など子どもたちが選んだ本を読み聞かせています。



八女学院中学・高等学校

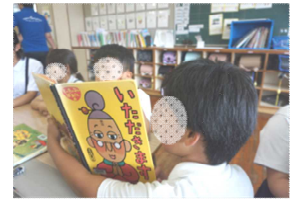
八女学院中学校では、読書の秋に絡めて、昨年に引き続き、国語の授業と連携した「ビブリオバトル」と「ポップコンテスト」を実施しました。また、「読書の木」（写真）を作って、本の紹介と、自分の感想を「葉っぱや果実シート」に書いて貼ってもらっています。毎日少しずつ増えていき、大きく成長していくのが楽しみです。八女学院高等学校では、これも昨年に引き続き、「押し本コンテスト」を実施中です。押しの本について14文字で紹介する企画で、昨年の最優秀は「アルジャーノンに花束を」の紹介（写真）でした。中高ともに図書委員がいろんな企画を提案しています。



書籍名 アルジャーノンに花束を 著者名 ダニエル・キイス

筑南小学校

筑南小学校『すくすく図書館』では、楽しい読書活動にたくさん取り組んでいます。合言葉は「めざせ、読書名人!」。そのためのアイテムが「ちくなんブックノート」です。月の目標や日頃の読書の記録、毎週木曜日の「読書タイム」や毎月7日のお家の方と本を読む「うちどく」などを書き込み、楽しみながら本に親しんでいます。また、読書ボランティア『おはなしとととと』のみなさんや図書委員会の「読み聞かせ」は心温まる時間です。上級生が下級生に読み聞かせする「ペア読書」やお気に入りの本の魅力を紹介し合う「ビブリオタイム」も大人気です。めざせ、読書名人!



みさき学園

みさき学園には、初等科、中・高等科の2つの図書館があります。普段は、自分の学年が属する図書館を利用していますが、11月の読書月間には『図書館トレードウィーク』を実施。期間中は、全学年が2つの図書館を自由に利用しました。児童生徒は、普段見ない本に目を輝かせながら、様々な本を手に取り読書を楽しみました。

その他、じゃんけんのイベントや放送での読書クイズも実施。中・高等科の図書係が中心となりながら各クラスで声をかけあい、読書活動を盛り上げました。年間を通して、読書に興味を持つきっかけ作りとなるよう取り組んでいます。

